



道農連 2021年4月の月間活動トピックス

2021(令和3)年 4月28日発行(第98号)

米の需給と生乳の流通対策などに関する要請を実施

道農連は4月7日、農水関係の道内選出の国会議員らに「米の需給・価格安定対策と米政策の見直し」と「コロナ禍における生乳流通の安定と畜安法の厳正な制度運用」に関する要請(文書送付)を実施した。

当初、4月8～9日にかけて中央行動を実施する予定だったが、新型コロナの感染拡大状況を鑑み上京を中止し、生産現場の意見を国の政策に反映させるため、郵送で対応することとした。

要請では、コロナ禍により農畜産物の需要が大きく減少している中、特に米と乳製品の在庫が深刻化していることから、米の需給・価格均衡化に向けて国が責任を持って需給調整の役割を果たすよう求めるとともに、生乳流通については、乳製品の需要拡大等の取組みに対する支援の継続などを求めた。

基本農政などの春闘対策を協議／第2回執行委員会

道農連は4月16日に第2回執行委員会を開催し、基本農政対策の基本方針や業態別の政策提言項目などについて協議した。基本農政対策では、日米貿易協定における追加交渉など国際貿易協定対策をはじめ、農業・農協改革対策、2022年度農業予算概算要求対策などを柱に運動展開することとした。

業態別対策では、組織討議の素案を示し、地区討議や第2回対策委員会(5/31 畑作・野菜対策、6/1 酪農・畜産対策、6/4 米・水田農業対策)を踏まえ、6月15日の第3回執行委員会・第1回真の農政改革実現対策委員会合同会議で政策提言事項を最終決定することとした。

天北地区農民連盟第49回定期総会を開催

天北地区農民連盟(井田和明委員長)は4月14日、第49回定期総会を開催し、2021年度運動方針及び収支予算案等を決定した。役員改選では、井田委員長と中島書記長を再任し、新たに遠藤良一氏が副委員長に就任した。

道農業青色申告会第12回定期総会を開催

道農連やJA道中央会等で構成する道農業青色申告会(会長:中原浩一道農連書記長)は4月26日、第12回定期総会を開き、2021年度活動方針等を決定し、中原会長を再任した。

総会終了後には、北海道税理士会の森下税務支援対策部長と札幌国税局の松尾記帳指導専門官を講師に招き、税研修会を行った。

4月の活動記録(上記以外)

- 9日 アフリカ支援米現地打合せ(由仁町)
- 13日 道農連女性書記の会幹事会(リモート)
- 14日 道農産協会・てん菜サンプリングのあり方に関する作業部会
- 15日 第1回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
- 16日 三役会議
- 21日 道農業青色申告会会計監査

5月の活動予定

- 12日 各地区事務局会議
- 21日 道農業再生協議会第1回水田部会
- 25日 ASIAGAP 研修会(北見地区農連)
- 31日 第2回畑作・野菜対策委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(TEL011-241-5416)まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

